

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ジョブコーチ放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 16日		~ 2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○従業員評価実施期間	2026年 2月 16日		~ 2026年 3月 10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育において個々に伝えると受け止めて理解し気づきにつなげることも可能ですが、集団の中では他児童の目が気になり、素直に受け止められなくなる場面もあります。個別療育では個々に伝えられる時間と空間があります。個々の素敵な面を伝えながら、自己否定を自己肯定感へとつなげています。	課題においても、できなかった点に視点を向けるのではなく、出来ている部分に視点を置き、前回と比べてどこが進化しているかを具体的に伝えながら、出来ていない部分を一緒に取り組む関わりを大切にしています。	事前にタイムスケジュールやルールを伝えることで、それらを意識して活動してくれています。
2	個々の特性に合ったか関わり合いを考慮しています。 例えば、児童によっては『口出しせず・手出しせず』の関わりの中で興味・関心事を広げて行ったり、自身からやってほしいことを伝えに来てくれる場面も増えていきます。このように個々の特性に合わせて療育を個別ではさらに大切にしています。	登所時ひとり一人の児童に『今日も来てくれてありがとう』『今日も楽しもうね!』と顔を見て体調や表情を伺いながら声掛けを行っています。	日々楽しんでもらえるよう、児童の成長過程に合わせた机上課題の工夫や、自由時間は興味関心事を広げる為個々の好きなこと得意なことをさらにステップアップした遊びの提供を行っています。
3	『やればできた!』『僕・私ってすごい!』と感じてもらえる経験値を高めながら、自己肯定感につなげられる活動の提供を行っています。	できていない面に視点を向けるのではなく、出来ている点を前回とどの部分が上達しているかを、具体的な言葉で伝え、出来なかった部分への意欲につなげています。	誰かと比べるのではなく、『君は君なんだよ』という事を今後も児童にそして保護者の方にも伝えていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの人材育成	児童の成長段階に寄り添ったスタッフの療育向上も重要。	日々感じていること思っていることを言葉にし合える環境づくりを大切にしています。その中で児童が登所してくるまでの時間で日々ミーティングを行っています。
2	児童の進級に伴い、宿題や学習面もより難しくなってきたり、学習面での対応は今後も課題である。	個々の学習面の遅れをどこまで対応してゆけばよいのか課題となっています。	学校担任の先生とも情報共有させていただきながら、個々の児童の学習面や学校での様子を理解・把握してゆきたい
3	・送迎課題 車両やスタッフは増やしても送迎できる利用者数は限られてしまう。	安全に希望される時間での送迎には綿密なシフト調整が必要。スタッフ間の情報共有を大切にしている。	送迎時の保護者対応や学校・事業所間での情報共有を密にするために、日頃から言葉でのコミュニケーション面を大切にしている。

公表

事業所における自己評価結果

(No.1)

事業所名 ぽぽろあはくび (放デイ)

公表日 2026年5月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		当日の利用定員に合わせて環境を日々整えている。	改修等スタッフ間での話し合いを。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		全体を基盤として職員一人ひとりを心掛けている。	人任の療育を行ってほしい！
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的ツール等取組んでいる。	当日の利用定員に合わせて環境づくり。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		朝、夕消毒等の清掃徹底	換気や消毒・清掃を継続して行う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンの部屋に静養室が設けられている。	当日の利用定員に合わせて療育計画を心掛けている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		モニタリングを行い、個別支援計画の作成と周知を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者との情報共有シートを作成して職員が把握している。	評価表やアンケート調査での意見を取り組んでいる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月ミーティング(合同)を行い、事業所別課題交換を行っている。	内容は書式化しスタッフ全員が周知できるようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		評価結果はスタッフにも伝えている。	第三者委員会の実施を検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		日々の研修や動画研修を研修を実施している。	意見がのびる日も何らかの研修を心掛けている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		スタッフ間での意見も伺いながら作成している。	個々のスタッフに対応が異なる点は課題である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者からの困りごと等を念頭に計画作成を考慮している。	保護者と同時期に課題を話し合う方もいる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		出席していただくスタッフも周知を心がけている。	個々のスタッフに療育内容も異なるとは課題。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		情報の共有は徹底している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		スタッフ間での把握を促進化して行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援内容を話し合いをいって提供の可否支援を検討している。	保護者からの要望等も反映して作成している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個々の成長に合わせて検討	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	スタッフからの声も 反映している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	毎日個別療育担当者の 意見も必ず反映している。	計画書内容は定期的に 確認している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	職員間での打合せは 常にしている。	トラブル内容はスタッフに 周知している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	HU9入りの際はその日の 様子を互いに確認している。	お互いの声を出し合う 環境づくりを徹底
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	HU9入りの記録を振り返り 確認している。	"
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	定期的なモニタリングを 実施できている。	保護者からの声もその際 伝えている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>	スタッフ間での認知 も促している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>	事前のタスクスケジュールは 児童間でも決めてもらっている。	自分で決めたい内容は それに沿って対応している。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	参加できている。	会議内容は周知している 対応している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	学校側や相談員側の 情報共有にも取り組んでいる。	その時間を見つけている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	不登校児童において 情報内容を速く行っている。	保護者のお困り事も 共有できている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>	保護者と通じて共有の場 を設けている。	お迎えの際には様子など は行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>	学校の送り迎えの際等 お話しする機会はある。	保護者へも情報共有 している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	保護者と通じて共有の 機会がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	当初には多量に活動の 地域連携を毎年実施	利用児童や地域の方 にもお付き合いがある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	以前には参加していた が	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	共通理解ができていない 情報の共有は行っている	保護者の時間に合わせて 対応している。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	年に1回程度である。	事前の声掛けや調整 は入っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	ご契約時に説明や 質疑応答の場を設けている。	案内やお困りごとには 都度対応している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	送迎の際にHU9を通じて 対応できるようにしている。	時間を奪う際は、 日程調整を行っている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	作成前にご希望等 伺っている。	継続して実施

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		Hugとお遊びの時間等 近況の対応を心掛ける	毎月子ども内容の 日程調整を行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		年間程度 参加者が増える	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情やお困りごとの対応 内訳を話し合い対応している	個人情報に十分配慮 して対応
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		HPやインスタの情報を 取り上げている。	定期的に変更を努めている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		ご契約の日にちも契約書と 交わしている。	日々考慮しながら 対応している。
非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		保護者の声や困り事に 丁寧に対応を心掛けている。	内容によっては養育者へ も相談している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		夏祭り等地域を会場に イベントを開催している。	ポスターやフライヤー等 事前で配布している。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルは作成済みで 定期的な見直しを行っている。	年度々での確認の 必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		避難訓練の実施は しております。	保護者への報告をもと 明確に行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメント情報として スタッフへ周知徹底している。	定期的な確認を 実施。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		〃	〃
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		当日の利用児童の状況に 環境や療育を考慮している。	スタッフ間で注意を 促している。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		電話やHug等を主体として 伝えている。	内容によっては直接 お会いしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事例は書式 にしている。	スタッフ間で周知徹底 に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		研修内容の一端には 実施している。	研修内容の書式化 し、スタッフ間で周知している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		年度からスタッフ間で 話し合いながら対応。	療育の観点から 相談している。	